



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2017年12月①号

北区の人権つどいの取り組みがあり、井坂市会議員と参加しました。テーマは「LGBT」という言葉を知っていますか？ 一部はトランスジェンダーの当事者で佛教大学教育学研究科大学院生の久本 絢愛さんの講演。演題は「本当の私」大阪出身でなんとノリの良い口調で、「男らしくせよ」と叱咤されたことや、男の子のプレゼントをクリスマスプレゼントでがっかりしたことなど、辛かったことも吹き飛ばすように語ってくれました。とってもステキな女性でした。二部は映画で「彼らが本気を編むときは」です。生田斗真さんがトランスジェンダーとして、生きてきたリンカ役を好演。桐谷健太さんがリンカをいかに愛していることを姪っ子に語るところが素敵でした。ぜひ多くの人に観てほしいなと思いました。

さらに「**バリアフリー上映**」ということで、映画などの副音声と字幕を付けられた上映でした。京都リップルの皆さんによる制作でした。代表の方から、京都リップルの紹介もあり、よりバリアフリーやユニバーサルについて考える機会ともなりました。



右から玉本なるみ市議、久本絢愛さん、井坂博文市会議員

よりよい介護をつくる市民ネットワークの皆さんが開催された**第2回シンポジウム「だまってたら あかん！」**～現場からの声～みえてきた“総合事業”の問題点に、ご案内をいただき参加しました。 佛教大学名誉教授の浜岡先生の基調報告「スタートした総合事業の問題点と課題」で介護保険がだんだんと利用しにくくなってきていることがよく分かりました。パネルディスカッションでは、現場のヘルパーさんから、総合事業での生活支援型の報酬額が15%も引き下げられたことによる影響、ヘルパー不足の実態、寸劇では介護型による家事などの見守り援助の問題などが分かりやすく紹介されました。

私はフロアー発言として、議会で行政が「順調にしている」という答弁を繰り返していることを紹介し、現場からの声をどんどん議会や行政に届けて欲しいことをお願いしました。



つばやき：市会だより 9月の代表質問の記事が11月15日号の市民しんぶん区民版に折込されました。今回は何人かの方から、「載ってましたね」と声をかけていただきました。市民しんぶんに掲載されるのは、たくさん質問した中の2つだけですが、見てくれている方がおられるんだと嬉しかったです。もっともっと、市民の皆さんに議会のことをお知らせしなくてはと思います。

アンテナ

父の闘い

父が逝きました。脳幹部の梗塞で、倒れていきなり昏睡状態となり、目を覚ますことなく、旅立ちました。82歳でした。高槻市の三島救命救急センターに運ばれ、約3日間、命の淵をさまよいながら、明け方2時に旅立ちました。血圧が50代になり、心配で泊まり込みました。すると今度は血圧が、230まで上がり、また下がり、また上がるを繰り返しました。すぐに逝かず、3日間頑張ってくれて、私たちに心の準備をさせてくれたように思いました。

広島県の瀬戸田という小さな島の町から大阪に出てきて、大工として働き続け、晩年はたくさんの病氣と闘いながらも、よくしゃべり、愉快な人でした。私がやりたいことは、反対せず見守ってくれました。



後悔先に立たずと言いますが、もっといっぱい話したかったし、小旅行にも行きたいなと思っていた矢先でした。大工という特技から、小学校の時の夏休みの工作を手伝ってほしい立派すぎる木の家の貯金箱を作ったな

。選挙事務所の水回りを作ってもらったなど、いろいろな思い出があります。ありがとうが言いたかったです。

大工仕事に使っていた墨ツボと郷里の瀬戸田のレモンなどを棺に入れました。

